

新潟市口腔保健福祉センター年次報告（概要）  
 （平成26年4月1日～平成27年3月31日）

1 利用実績

(1) 急患診療

	診療日数	利用患者数	一日平均患者数
平成26年度通年	74日	1,008人	平均 13.6人
平常の休日	52日	532人	平均 10.2人
連休及び1日飛び休日	14日	199人	平均 14.2人
お盆（平日）	4日	94人	平均 23.5人
お盆（休日）	0日	0人	平均 0人
年末	1日	62人	平均 62.0人
年始	3日	121人	平均 40.3人

性別年齢別患者内訳

	男	女	計
6歳未満	56	40	96
6～17歳	69	31	100
18～64歳	364	286	650
65歳以上	86	76	162
計	575	433	1,008

(人)

平常の休日の一日常平均患者数は10.2人で昨年の9.4人を上回った。連休及び1日飛び休日は昨年の15.6人から14.2人に減少したものの、年始は昨年の34.8人から40.3人、年末は53.0人から62.0人とお盆以外の休日は一日常平均患者数が前年度に比べ上回っている。

どの年齢層においてもまんべんなく来院されている。

疾病別では、う蝕、外傷、K r . B r 脱離、の順が多かった。

三次医療機関への紹介数は24件であった。

## (2) 特別診療

	診療日数	半日診療回数	利用患者数	半日平均患者数
平成 26 年度通年	147 日	159 回	1,171 人	平均 7.4 人

性別年齢別患者内訳	男	女	計
6 歳未満	23	16	39
6～17 歳	226	91	317
18～64 歳	383	313	696
65 歳以上	43	76	119
計	675	496	1,171

(人)

障がい別患者内訳	(人)
知的障害	600
肢体不自由 (中途障害)	122
脳性麻痺	113
発達障害	108
精神疾患	28
ダウン症候群	43
パーキンソン	31
上記以外	126

平成 25 年度より、繁忙期に歯科医師の増員をしていたが、今年度の半日平均の患者数が 7.4 人となり、昨年の 6.6 人よりも増加した。月ごとに患者数にばらつきがあり、患者数が最も少なかった 6 月は 6.7 人、最も多かった 3 月は 8.6 人であった。来院された理由として歯周疾患とう蝕を主訴としての来院が殆どであり、障がい別でみると例年同様、知的障がいのある患者の割合が高い。

一次・二次及び三次医療機関への紹介数は、それぞれ 4 件、1 件、9 件であった。

往診 (摂食嚥下評価) では、介護老人保健施設「緑樹苑」・介護老人福祉施設「特別養護老人ホーム 黒埼の里」へ赴いている。年間を通してののべ患者数は 44 名であった。地域における摂食嚥下障害に対応できる人材を育成することを目的とし、往診時に主担当歯科医師の他に歯科医師の帯同を行っており、平成 26 年 9 月から平成 27 年 3 月までに 7 名の歯科医師が帯同した。

## 2 利用料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

別紙参照

## 3 総括・自己評価

急患診療では、昨年より受診患者数が微増した。年末は 1 日の受診患者数が開設以来最多で、通常の休日より待ち時間が伸びたものの、スタッフの適切な人員配置により大きなトラブルもなく終了した。事故 (過剰の負担金の受領) が 1 件あった。今後は氏名の確認を徹底するとともに、事故発生時速やかに報告できるような体勢を構築していく。また、個人情報の取り扱いに際しては細心の注意を払うよう周知、徹底した。

特別診療では順調に患者数が増加している。受診患者及び患者家族の生活環境から曜日や時間帯によっては患者が集中し、予約が取りにくい状況があった。次年度は、診療日が増設されることで、患者受け入れ状況の改善を期待するとともに、平成 24 年度に特別診療受診者を対象に実施したアンケート調査でも要望があった常勤歯科医師を配置することで個別

の対応の充実を図る。

苦情が1件あった。内容について真摯に受け止め、家庭背景等にも配慮した対応を行い、必要に応じて患者及び患者家族に対し病状説明用紙を発行することとした。

往診（摂食嚥下機能評価）は、モデル事業から通常事業となり、往診日が増えたこともあり患者数は増加している。今年度は介護老人福祉施設と介護老人保健施設を対象に行っていたが、短期入所生活介護施設でも介入のニーズがあると考えられ、次年度は対象施設の拡大と公募により新たな対象施設を選定するシステムの導入を図る。同行実地研修事業も継続する。

高齢者福祉施設・障がい者福祉施設に対する歯科保健事業の口腔健診・研修事業では、対象施設の実施数が毎年減少傾向にある。理由としては長年健診を行う事で、施設職員・受診者の口腔に関するモチベーションが上がり、個々で開業歯科医院に受診していることも考えられる。今後は、共同生活援助実施施設及び施設入所支援実施施設を対象として行ったアンケート調査等も参考にし、対象施設の選定を行っていく。口腔ケア研修事業では、平成25年度に比べ申込が大幅に増えた。対象とした施設のニーズに沿うような研修を今後も実施していく。

また日曜、祝日など一般の歯科医院の休診日に限定される急患診療ですが、それ以外の日程での診療希望もあるようです。

「担当していただいた先生、衛生士さんともとても親切で丁寧で、今のところより替えたいと思いました。」

「一般受診できるようにしてくraitたいです。」

「こういう行き届いた歯科があれば通院したいと思った。」

お褒めの言葉が多い反面、ご不満やお叱りの言葉もありました。

「ここに来るのに1階の急患センターの受付前のエレベーターを通らなければならず、インフルエンザの流行期には不安です。なるべく直通でここに来られたら良いと思います。」

「今日の担当医の技術は低すぎる。びっくりするくらいドクターの差がある。」

「治療中に口をすすぐ水が冷たかったので、少しでいいので温かいとしみにくくて助かります。」

アンケートに回答をいただきありがとうございました。お答えいただいた全てのご意見、ご要望を真摯に受け止めてまいります。

#### まとめ

センター利用者の皆様には、今回のアンケート調査へのご協力をスタッフ一同よりお礼申し上げます。

皆様から寄せられたご要望にお応えする事は容易ではないかも知れませんが、より良い口腔保健福祉センターを実現するための取り組みを続けております。

今後ともよろしくご協力をお願い申し上げます。